

# 要求工学シンポジウム 2016

## ～IT を活用する企業変革のための要求工学の実践～

### 開催

平成 28 年 7 月 15 日(金)、TJK プラザ会館にて要求工学委員会(青山幹雄、南山大学教授)主催、(一社)日本情報システム・ユーザー協会協賛、「要求工学シンポジウム 2016」が開催された。参加者は 110 名。

午前にはシンポジウム全体を俯瞰する講演として、まず青山幹雄要求工学委員会委員長が「JISA における要求工学への取り組み」と題して本会の活動の紹介、デジタルビジネスを実現する要求工学について紹介を行った。続いて、(株)NTT データ平岡正寿氏が、「エンタープライズでのアジャイル」と題して、アジャイルの考え方、Scrum 概要、エンタープライズに適用にむけて等、事例を交えて紹介した。次に、伊藤忠テクノソリューションズ(株)野村典文氏が、「デジタルビジネス最前線とプラットフォーム戦略について」と題して、デジタルビジネスの最前線(米国の状況)、IoT サービスの現状と将来展望、デジタル化時代の要求工学等、次世代の要求工学について紹介した。

午後は、要求開発実践事例、要求インスペクションを活用した要求品質向上の事例を紹介する講演会、参加者に体験頂けるワークショップを行った(詳細はプログラム参照)。

いずれのセッションにおいても質疑が活発に行われて、講演終了後には情報交換パーティを開催し、盛況のうちに散会した。

#### ■講演プログラム

時間	セッション名/会場
(会場)	「多目的ルーム」 B+C
10:00～10:15	開会・JISA における要求工学への取り組み  青山幹雄(南山大学)
10:15～11:05	基調講演 1 「エンタープライズでのアジャイル開発」  [概要] 最近では、アジャイル開発についての記事や事例を頻繁に目にするようになってきました。

	<p>お客様がアジャイル開発を指定されるケースも出てきていますし、すでにアジャイル開発を経験された方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。</p> <p>NTTデータも今年度、アジャイルプロフェッショナルセンタを新たに設置し、これまで以上にアジャイル開発の推進をおこなっています。</p> <p>本講演では、我々センタのご紹介をさせていただくと同時に、アジャイル開発の概要やエンタープライズでアジャイルを用いる際のポイントをいくつかご紹介したいと思います。</p> <p style="text-align: right;">平岡正寿((株)NTT データ)</p>
11:05～11:10	休 憩
11:10～12:00	<p>基調講演 2 「デジタルビジネス最前線とプラットフォーム戦略について」 ～プラットフォーム戦略における要求工学の重要性～</p> <p>[概要]</p> <p>近年、クラウドファースト、ビッグデータ、IoT、フィンテック、AI などデジタル・ビジネスの根幹を握るテクニカルワードが巷をにぎわせています。わが国でも多くの企業がデジタル・ビジネス・イノベーションを模索し、実際に取り組みを検討しています。</p> <p>伊藤忠テクノソリューションズは、サンタクララとニューヨークに拠点を置き、次世代 IT 技術やそれを活用したビジネスの調査及び日本企業とスタートアップ企業を結び付ける事業を行っています。</p> <p>本講演では、デジタル・ビジネス最前線である米国のビジネス状況とデジタルビジネスに経営の舵をきった GE(General Electric)の Industrial Internet Platform (Predix) 戦略について紹介させていただきます。</p> <p>その上で、デジタル・ビジネス時代に必要となる要求工学の課題をいくつか提示させていただき、皆様と次世代の要求工学について考えていきたいと思っております。</p> <p style="text-align: right;">野村典文(伊藤忠テクノソリューションズ(株))</p>

(会場)	「多目的ルーム」 A	「多目的ルーム」 B+C
13:10～14:00	<p>「デザイン思考による UX 要求の獲得」</p> <p>[概要]</p> <p>多くの企業は未来に向けた新たな価値の創出を模索している。ヒーロー依存型のアイデア発想から抜け出し、組織として着実に進めたいという思いがある。しかし、デザイン思考、HCD、UX、アジャイル、リーンスタートアップ、アイデアソン/ハッカソン、共創などのキーワードに混乱している企業も少なくない。</p> <p>前半ではこれらのキーワードを整理し解説する。後半では、複数の視点をコラボレーションさせアイデアを発想していく「デザイン思考」と、“楽しさ”“驚き”“心地よさ”を感じ“また使いたい”と思うような商品・サービスを考える「UX アプローチ」を組み合わせた要求の獲得について紹介する。</p> <p style="text-align: right;">森田功(富士通(株))</p>	<p>ワークショップ(定員 50 名)</p> <p>「ユーザ中心設計のための要求獲得：状況認知に基づくインタビュー手法」</p> <p>[概要]</p> <p>近年、対象ソフトウェアのユーザは多様化し、同一のユーザでも状況の違いによって、感じ方やそれに基づく行動が異なってきている。多様化するユーザに加え、個人の知覚や反応も考慮した UX(ユーザエクスペリエンス)型のユーザ中心設計の実践が重要である。</p> <p>このワークショップでは、ステークホルダの状況認知(Situation Awareness)を分析し、状況の違いによってユーザが真に必要なとする要求を洗い出すために、インタビュー項目とその組み立て方法の合理的な導出を試みる。グループに分かれて、ユーザがどのような状況認知に基づいて意思決定、行動を行っているのかをモデル化した上で、そのモデルに基づいて、必要な情報を抽出するためのインタビュー項目を導出する作業を行う。このような作業を通して、実践での留意点、効率化のコツなどについてディスカッションする。</p> <p style="text-align: right;">位野木万里(工学院大学) 鈴木佐知子(富士通(株)) 中谷多哉子(放送大学)</p>
14:00～14:50	<p>「アジャイル開発における要求管理手法と適用評価」</p> <p>[概要]</p> <p>近年、アジャイル開発に注目が集まっています。アジャイル開発が適用される新しい製品/サービスの開発では、事前にすべての要求を定義することが難しく、試行錯誤を通し</p>	

	<p>て具体化します。そのため、要求を成熟させていくというアプローチが有効です。アジャイル開発を 実践し得た経験を基に、アジャイル開発における要求管理手法を考案しました。本発表では、アジャイル開発特有の要求を成熟させていくというアプローチを考 慮した要求管理手法および適用事例を紹介します。</p> <p>北川貴之(東芝ソリューション(株))</p>	
14:50～15:00	休 憩	
15:00～16:50	<p>「要求仕様書インスペクションによる要求品質の向上: 解説と実践事例」</p> <p>[概要]</p> <p>JISA では、要求仕様書の品質向上のための新しいインスペクション技術の普及に取り組んでいます。このインスペクション技術の紹介と、その現場への展開における課題とその解決策、効果などをエンタープライズシステムと自動車組込みシステムの事例で紹介する。</p> <p>青山幹雄(南山大学) 大下義勝((株)日立ソリューションズ) 蛸島昭之((株)デンソー)</p>	
16:50～17:00		休憩・移動
17:00～18:30		情報交換パーティ (3 階「K-キャビン」)
18:30		閉会

(溝尾)